

# プールでの学習が始まりました

昨年は実施できなかった「水遊び」「水泳」などのプールでの学習が始まりました。密を避けるために小プールを使う1、2年生は学級ごとに学習をしています。また、プールのフェンスには2メートル間隔に目印をつけ、そこに並ぶように指導を徹底しています（この取組は感染症対策の必要がなくなっても続けたいです）。

さらに、マスクを外しての学習となりますので、声を出すことができません。例年はプールから「ワー」「キャー」などの声が聞こえてきますが、今年は水泳用マスクをした指導者の声のみが聞こえてくる学習となっています。

それでも水に入った子どもたちの表情はいきいきとしていて、夏らしい学びができています。例年よりも時間数は少なくなりますが、声を出さずに集中している分、力をつけることができるのではないかと期待しています。

2メートル間隔の数字を目印に1列に並んで



約束を守って 楽しい学習（1年生）

## 子どもたちの学びをより確かなものに～日枝中学校区学力向上学校訪問～

湖南省の学力向上アドバイザーの菊池省三先生を本校にお招きして、全学級の授業を参観していただいたり、示範授業を行っていただいたりし、職員研修を実施しました。

指導講話のなかでは、子どもへのプラスの声かけの大切さ、一人一人の違いを認め合う学びの集団づくりの大切さなどについて聴き、今後の指導に生かしていきたいと強く感じました。

午後は、日枝中学校区の小中学校の教員が集まり、示範授業のVTRをもとに研修を行い、最後に菊池先生の講演を聴きました。

子どもたちを早く下校させての研修です。教職員の力量を高め、子どもたちの学力向上につなげていきたいです。



示範授業を行う 菊池先生

示範授業の中で「卒業式の日の色は何色？」の問いに、「いろいろな経験を積んでいるはずだから『カラフル色』と答えた子や『水戸小の校舎の色は黄色だから『黄色』と答えた子などがいました。

子どもたちはゴールをイメージしながら学校生活を送っているんだと感じました。

## 個別懇談について

今年度は、家庭訪問を希望制とした関係で、保護者の皆様全員とお話しさせていただく機会をもてませんでした。そこで、1学期末の懇談を個別懇談とし、お子様の学習の様子をお伝えするとともに、夏休みの学習の進め方についてご相談させていただきます。限られた時間ではありますが、意義のある懇談となりますようどうぞよろしくお願い致します。

なお、本校は3学期制をとっておりますので、年に3回「あゆみ」をお渡しします。1学期については、個別懇談の際に学習や生活の様子を詳しくお伝えする関係で見聞欄は省かせていただきますので、ご理解いただきますようお願い致します。



# ふるさと 水戸7月

「あい」のある学校・地域 つながれ水戸っ子

## よりよい学校を目指して～児童総会で願いを語る～

校長 中尾 功

6月16日に児童総会を行いました。行事精選のなかで実施しない学校が増えている行事ですが、子どもたちが自分たちの学校生活をよりよくしようと、願いを出し合う集会は、「自分たちが学校の主人公」という思いをもつうえで大切にしたい活動だと考えています。

児童総会は、各学級の学級目標の発表から始まりました。1～3年生はVTRで発表しました。校報5月号で紹介したそれぞれの目標を代表児童が堂々と発表しました。

次は、各委員会からの取組の報告です。今年、新しくできた「心ばかばか委員会」を含め10の委員会からの報告がありました。原稿があるとはいえ、聴いている人のほうを見ながら、堂々と報告する各委員長の姿に頼もしさを感じました。

そして、いよいよ各クラスからの意見発表です。当日は以下のような意見が出されました。（一部です）

- 水戸ネットワーク・・・日本語ばかりなので、音楽やほかのアニメも放送してほしいです
- ボランティア・・・なぜベルマークを集めているのですか
- わくわく給食・・・放送中、とまっていることやわらっていることが気になります
- からだいきいき・・・マスクを着けてない人や鼻までかくせてない人が気になります
- 読書・・・借りられる数や借りられる期間をふやしてほしいです
- クリーンアップ・・・刈-アップデ-のときに、外だけでなく、中もそうじしたいです
- 命きらきら・・・動物や魚の種類をふやしてほしいです
- 水戸っ子・・・廊下を走っている人が多いので、なんとかしてほしいです
- 心ばかばか・・・日本語が分からない人にもルールが分かるような取組をしてはどうですか
- たいりょく・・・雨の日の遊び方を提案してほしいです



取組を報告する委員長



自分たちの願いを発表する4年生

意見に対して、各委員長が答えます。どの子も一生懸命に思いを伝え、そして、一生懸命に答えます。それぞれの心の中には「よりよい学校にしたい」という強い思いがあったのだと思います。

ただ一つ残念だったのは、意見の中に「私は〇〇します」という、自分から願いをもって行動する意見がなかったことです。自分に何ができるかを考え、行動してこそ、願いの実現につながることをこれからの様々な活動で学んでいきたいです。